

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2018年 4月 29日

申19号「びゅうプラザ店舗(石巻駅、古川駅)の廃止に関する申し入れ団交

2018年4月25日13時30分から申19号「びゅうプラザ店舗(石巻駅、古川駅)の廃止に関する申し入れ(2018年4月3日申入)団体交渉を行いました。主な議論は以下の通りです。提案通り、2018年5月12日から廃止となる予定です。詳細など不明な点ございましたら、地本業務部まで連絡を下さい。

(1項) びゅうプラザ店舗の廃止(石巻駅びゅうプラザ・古川駅びゅうプラザ)について、お客様のご利用状況や店舗の業務実態等を具体的に明らかにすること。

(回答) びゅうプラザ店舗の廃止については、これまでと同様、お客さまのご利用実態等を総合的に勘案し、実施するものである。

【主な議論】・石巻はこの間廃止になった新庄、米沢より少なく、古川は新庄、米沢より多い。営業を存続するか、否かを考えたところ廃止とした。

(2項) びゅうプラザ店舗の廃止を行うにあたり、お客様等の理解を十分に得られるように行うこと。また、職場における働きがいやモチベーションを高める努力をすること。

(回答) お知らせ文の掲出等により、お客さまへの周知を図っているところである。

【主な議論】・ポスターなどでお客さま周知を行っている。選択と集中で、移管と廃止を考えている。インターネットが使えないお客様は、電話の予約センターで対応する。

(3項) やむを得ず、転勤となる社員・グリーンスタッフに対しては、本人希望を最大限尊重すること。

(回答) 社員の運用にあたっては、本人の適性等を総合的に勘案して決定することとなる。

【主な議論】・定年な議論をして、方向性は決まっている。グリーンスタッフの方は、モニターなど選択肢は増えた。転勤に関しても、丁寧に行う。

(4項) これまでの営業施策として、水平展開をすることにあたっての先行として古川駅における新販売拠点として、運用してきたこれまでの成果と課題を明確にし、整理すること。

(回答) びゅうプラザ古川駅については、環境の変化に柔軟に対応し持続的に観光流動を創造する体制を構築できたと認識している。

【主な議論】・労使合意に3年かかったが、総合販売を行って、非常に成果があった(ここは一致せず)が、環境の変化に対応できなかった。石巻、あおば通駅は新販売拠点整備駅であったが、GSが地方では改札が出来なかったためであった。

(5項) びゅうプラザ店舗の廃止後のスペースの活用について、明らかにすること。また、駅総体としての販売・案内体制を確保すること。

(回答) 駅の特情やお客さまのご利用状況等を勘案し、駅スペースの有効活用を検討していくこととなる。

【主な議論】・駅と検討している最中。お客様が使えるスペースにしたい。観光案内や地元の映像を流すなどのアピールの場にするべきではないかとの主張に対しては、優先順位をつけながら行うと返答。

(6項) 今後の仙台支社管内におけるびゅうプラザ店舗移管の現時点での具体的なスケジュールを示すこと。また、現場の負担が伴う移管等は行わないこと。

(回答) グループ経営構想Vの実現に向け、グループ一体となって環境の変化に柔軟に対応し持続的に観光流動を創造する体制を構築していく考えである。

【主な議論】・引き続き打合せしながら行う。(本体びゅうプラザは、山形と福島)